

# 事前評価調書

I 事業概要																																												
事業名	道路事業																																											
地区名	一般県道 <small>ながさわひがしくらまえ</small> 長沢東蔵前線																																											
事業箇所	愛知県岡崎市大柳町 <small>おかざき おおやなぎ</small> 地内																																											
事業のあらまし	<p>一般県道長沢東蔵前線は、岡崎市北部の主要地方道岡崎足助線と一般県道東大見岡崎線を結ぶ山間地域の東西軸として、地域の暮らしを支える重要な路線であるが、当該事業区間は、1車線幅の狭隘な道路であり、車のすれ違いも困難な状況となっている。また、愛知県企業庁が用地造成を進めているトヨタ自動車の研究開発施設の周辺地域の利便性向上に向けても早期整備が強く望まれる路線でもある。</p> <p>このため、「山間や離島の暮らしを支える基盤整備」を主な目的として、山間地域における交通の円滑化や地域の安全で安心な生活基盤の向上及び研究開発施設の周辺地域の利便性向上を図るため、一般県道長沢東蔵前線の現道拡幅整備を行うものである。</p>																																											
事業目標	<p><b>【達成（主要）目標】</b></p> <p>(1) 山間や離島の暮らしを支える基盤整備</p> <p><b>【副次目標】</b></p> <p>—</p>																																											
事業費	事業費		内訳																																									
	7.0 億円		■工事費 5.5 億円、■用補費 0.6 億円、■その他 0.9 億円																																									
事業期間	採択予定年度	平成 31 年度	着工予定年度	平成 31 年度	完成予定年度	平成 36 年度																																						
事業内容	現道拡幅（延長：L=0.95km、車線数：完成2車線（2/2）、幅員：W=7.5m）																																											
II 評価																																												
①事業の必要性	1) 必要性	(1) 山間や離島の暮らしを支える基盤整備 ・山間部における生活幹線道路であるが、1車線の現道狭隘区間では車のすれ違いが困難な状況である。現道の線形が不良で、見通しも悪く、往来する人や車の安全性に課題があり、整備が必要である。																																										
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p><b>【理由】</b></p> <p>交通の円滑化及び安全性確保のため、事業実施の必要性がある。</p>																																									
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #add8e6;"> <th colspan="2"></th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4">5.3</td> <td colspan="2">1.7</td> </tr> </tbody> </table>							H31	H32	H33	H34	H35	H36	工 種 区 分	調査・設計	←→						用地補償		←→					工事			←→				事業費（億円）		5.3				1.7	
			H31	H32	H33	H34	H35	H36																																				
工 種 区 分	調査・設計	←→																																										
	用地補償		←→																																									
	工事			←→																																								
事業費（億円）		5.3				1.7																																						
2) 地元の合意形成	<p>・地元自治体より早期整備の要望を受けている。</p> <p>・地元役員に対し事業説明を行い、合意に向けた調整を図っている。</p>																																											
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p><b>【理由】</b></p> <p>円滑な事業環境が整っており、計画の実効性が確保されている。</p>																																										
III 対応方針																																												

事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
<b>IV 事後評価実施の有無と主な評価内容</b>	
<p>■対象（事業完了後5年目）    □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度、安全性の改善状況</p>	